

学校だより **けやき坂**

川西市立けやき坂小学校
校長 齋木 久雄

初冬の候、保護者の皆様方にはご健勝のことと存じます。11月は、とても暖かい日が続きましたが、ようやく寒くなって来ました。また、人権参観、校内研修会、個人懇談、作品展等の多くの行事がありましたが、いよいよ2学期も残り4週間弱となりました。

なお、作品展は12月2日(水)まで開催しておりますので、まだご覧になっていない方は、ぜひご来校下さり、子ども達の素晴らしい作品をご覧ください。

それでは、以下に11月9日の全校朝会での校長講話の概略を記します。

先週に異学年の交流で王様ドッジをしましたが、どうでしたか。計画委員の皆さん、本当に素晴らしい企画をありがとうございました。

さて、普段の皆さんの学校生活の中で、上級生と下級生が触れ合う機会が多いのは、登下校の時と25分休みやお昼休みに運動場等で遊んでいる時だと思いますが、残念ながら、その時に上級生と下級生とのトラブルが発生しています。

上級生と下級生が触れ合う機会では、上級生の皆さんには、下級生の見本となる正しい行動をして、下級生に、みんなが仲良くできるためのルールを優しく教えてあげて下さい。そして、下級生の皆さんは、上級生のお兄さん・お姉さんのよい面をお手本にして、お兄さん・お姉さんの正しいアドバイスを素直に聴いて欲しいと思います。

そして、お互いに思いやりの気持ちを持って、上級生と下級生が仲良く楽しい学校生活を送ってくれることを願っています。

次に、前回の学校便りで紹介した「子どもの心のコーチング」(著者 菅原裕子 PHP研究所)の〈Part②子どもに教えたい3つの力〉を紹介します。

菅原さんが考える3つの事とは、「愛すること」「責任」「人の役に立つ喜び」です。

○「愛すること」では、

愛されてこそ「自己肯定感」が育成される。親が自分の都合で愛するのではなく、無条件でありのままの「今」の子どもの姿を愛する。

○「責任」では、

子どもが朝起きるのは誰の仕事?という項で「起こさないと遅刻するから」というヘルプは、子どもが自分で起きなくてもよいという状況を作ってしまう。子どもは親に依存するようになり、子どもの自立が妨げられます。子どもが困らないように親が手を出すことは、子どもにとって大事な学びの機会を奪ってしまうのです。**親は、子どもが責任を学ぶ体験を、子どもが親の大きな翼の中にいるうちに十分させましょう。**

○「人の役に立つ喜び」では、

ほめられて動く種を植え付けると、ほめられないと不満に思い動かない。叱られて動く種を植え付けると、叱られないと動かない。本当のやる気は、外からではなく子ども自身の中か

ら湧いてくるものです。そのやる気の種は「人の役に立つ喜び」です。この種を植えることで、子どもは健全なやる気を保つことができます。と菅原さんは述べられています。

《12月行事予定》 生活目標「外で元気に遊ぼう」

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	作品展	16	水	
2	水	個人懇談④、作品展	17	木	
3	木	PTA 清和台中学校通学路見学会	18	金	
4	金	ALT（3年、4の3）	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月	全校朝会	22	火	給食最終日、6年PTC活動
8	火	PTA しめ縄準備	23	水	天皇誕生日
9	水	PTA 臨時総会	24	木	けやきワールド、大掃除
10	木	学校安全協力員交流会	25	金	2学期終業式、PTA親子クッキング
11	金		26	土	PTAしめ縄作り
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	
15	火	おはなし広場	30	水	
			31	木	

<1月の行事予定>

8日（木）3学期始業式・校外児童会、12日（火）給食開始、15日（金）地震避難訓練、

<お知らせとお願い>

約2ヶ月前の土曜日の午後、学校に一本の電話がありました。電話の内容は、「小学生が自宅前の歩道でボール遊びをしていて、そのボールが庭に入って来るので困っている。学校で注意をして欲しい」というものでした。電話を受けた職員が住所を聞くと、「ご近所との人間関係が悪くなるのが心配だから言いたくない」とのことでした。職員が、それでは指導が出来ませんと伝えると、児童全体に注意をして欲しいとの事でしたので、10月の全校朝会で一般論として「道路や歩道でのボール遊等、危険な遊びや近所の迷惑になるような遊びは止めましょう」という話をしましたが、本来、このような事案は当事者同士で解決できる事だと思います。

近年、この様な学校に対する苦情が増加していますが、その原因は、子ども同士・親同士、ご近所同士の人間関係の希薄化だと思います。人間関係の根本は「お互い様の精神」だと思いますが、お互いに「ごめんね」「いいよ」「ありがとう」「どういたしまして」が気軽に言い合えるような関係が築けることを願っています。